

試験研究事例

研究会

繊維強化樹脂研究会

支援先

プラスチック関連製造企業等

【内 容】

「炭素繊維強化樹脂 (CFRP)」は、「軽量」かつ「高強度」な素材として、航空機やスポーツ用品、自動車部品等に利用されており、中でも工業材料としての用途は拡大していくと期待されています。本研究会は、会員企業の CFRP 関連産業への参入を目的として、平成 25 年度から、つくば地域の研究機関及び大学、公設試験研究機関における CFRP 研究情報の提供、会員企業や県内外の CFRP 関連技術を有する企業間のネットワーク構築を支援しています。

本年度の 2 回の研究会は、CFRP の成形技術、評価およびリサイクルに関する研究に取り組んでこられた信州大学繊維学部の鮑教授による講演と、炭素繊維で強化した熱可塑性樹脂の開発と製造に携わってこられた東レ株式会社トレカ樹脂事業部の中野部長の講演を中心に実施しました。

- 第 13 回研究会 平成 30 年 7 月 26 日 (参加者：22 名)
「環境に良い高比強度連続カーボン繊維強化プラスチックの開発」
- 第 14 回研究会 平成 30 年 11 月 28 日 (参加者：15 名，図 1)
「“トレカ”樹脂のご紹介と採用事例に基づく製品開発」



図 1 講演の様子(第 14 回)

基礎となった事業

平成 29 年度 試験研究指導費 (B 経費)
「編織技術を活用した炭素繊維強化樹脂の加工性向上に関する試験研究事業」

現在の担当部門

素材開発部門	部 門 長	飯村 修志	TEL:0296-33-4154
	主 任	早乙女 秀丸	
	主 任	仁平 敬治	

試験研究事例

研究会

結城紬生産技術研究会

支援先

結城紬製造業

【目 的】

結城紬の工程は、細かい部分を含めると約 40 以上あり、生産者ごとに長年の経験に培われた技術や条件によって生産しています。しかし、手紬糸の太繊維度化等の要因により、品質維持に苦慮している現状もあり、また、技術者の後継者不足も課題となっていることから、研究会では品質維持や技術共有、産地内で活用できる結城紬技術テキストの作成を目的として、平成 29 年度から工程の再検証や生産者間による意見交換を実施しています。

【内 容】

平成 30 年度は、拵たて糸の生産工程について、図案からの拵柄展開や拵糸の糊付けについて意見交換及び検証を実施しています。

研究会では、若手の生産者がベテランの生産者に、疑問点やノウハウについて、熱心に質問するなど、活発な意見交換が行われました。今後も研究会での意見をもとに検証試験や技術のテキスト化を進めていく予定です。



図 1 研究会の様子

基礎となった事業

平成 30 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (研究会)

現在の担当部門

紬技術部門	部 門 長	篠塚 雅子	TEL:0296-33-4154
	主任研究員	本庄 恵美	
	主任研究員	中野 睦子	

- 第 4 回研究会：平成 30 年 11 月 26 日 (5 社 5 名) 「拵たて糸の工程について」